

博士課程教育リーディングプログラム 平成25年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	東京大学	申請大学長名	濱田純一
申請類型	複合領域型(情報)	プログラム責任者名	坂井修一
整理番号	K01	プログラムコーディネーター名	國吉康夫
プログラム名	ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムでは、ビッグデータ、複雑システム、ヒューマンシステムの先端ICTを基軸とし、複数専門分野を統合して、社会の喫緊の課題を解決し、あるいは新たな価値をもたらす知識社会経済システムを創造的にデザインし、社会イノベーションを先導するトップリーダーとチームを育成することを目的とする。これに向けて、複数の専門と課題にまたがったオープンかつ統合的なシステムデザインの能力を、グローバルデザインワークショップ、社会イノベーションプロジェクト実践、密着多元評価により育成すると共に、その基盤を共通必修科目群、海外・国内インターンシップや「武者修行」、実践英語教育、各専門分野における専門基礎・実践力教育により強化する。学生指導には、対象とする複数専門分野および課題に対応した、学内9部局16専攻と国内外20以上の学外機関の専門家が協力する。

2. プログラムの進捗状況

- 平成25年度は、(1) 運営体制の充実、(2) 教育環境の充実、(3) コースワークの充実、(4) 対外発信活動の促進、(5) 学生募集（M1新入、D1編入）・選抜（M1新入、D1編入、2年次(M2)進学）を計画通り実施した。
- (1) 関係17専攻が参加する運営協議会、企画戦略室、事務局、各委員会、各機構、等主要組織を充実させた。このため、特任教員および学術支援職員等を雇用した。プログラム推進強化のため推進委員会を設置し、外部委員による評価・計画WGを実施しその結果をプログラム改善に反映した。
 - (2) 17専攻の学生が日常的に集い、ディスカッションやグループワークができる場として、スペースを確保・整備し、GCLラボとして開設した。
 - (3) 学外講師の講義9科目、Global Design Tech Talk Series（Symposium 14、Lecture 18、Seminar 11、LRC (Leading Researcher Café) 3、BBS (Brown Bags Seminar) 2）、GDWS企画推進機構によるWS A（Small、Medium、Large）24件、WS B 6件を構築稼働し、コースワークを充実した。
 - (4) パンフレット改訂、解説ビデオ作成、学生募集説明会開催、公式WebとSNS（Facebook等）等による情報発信を実施した。
 - (5) 2年次進学予定者の選抜を予定通り実施した。また、RA、TAを予定通り採用し、教育コンテンツ充実に活用した。